

## ■指導行政のポイント

### “教育情報化”の新たな動き

菱村 幸彦

政権交代後、教育の情報化をめぐる新たな動きが出ている。きっかけは電子教科書の導入問題だ。

#### 電子教科書の導入をめぐる議論

口火を切ったのは、原口一博総務大臣である。昨年12月、原口大臣が「ICT 維新ビジョン」を公表し、そのなかで「2015年までにデジタル教科書をすべての小中学校全生徒に配備する」と打ち上げた。そして、総務省に「ICT を活用した協働教育推進のための研究会」を設置し、「フューチャー・スクール事業」として、実験校で電子教科書を使用した授業の実証研究を行う方針を示した。

これに対し、文部科学省は、本年4月に「学校教育の情報化に関する懇談会」を設置し、教育の情報化について本格的な審議を行っている。文科省の懇談会は、単に電子教科書の導入の是非といった狭い視点からではなく、「21世紀にふさわしい学校と学びの創造はどうあるべきか」といった広い観点から、教育の情報化のあり方について審議している。

7月7日に懇談会に提出された「教育の情報化ビジョン（骨子素案）」をみると、①21世紀に生きる子どもたちに求められる力、②学校教育の情報化が果たす役割、③デジタル教科書・教材、④情報端末・デジタル機器・ネットワーク環境、⑤教員の役割と情報通信技術の活用指導力養成――等々についてこれまでの議論をまとめている。今後もワーキンググループを設けて、電子教科書など個別の課題について議論を深める予定になっている。

このほかにも、今年5月に政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部で決定された「新たな情報通信技術戦略」において、教育分野について、情報通信技術を活用して、①子ども同士が教え合い学び合う双方向でわかりやすい授業の実現、②教職員の負担の軽減、③児童・生徒の情報活用能力の向上をはかる環

境の整備などが盛り込まれている。また、今年6月に閣議決定した「新成長戦略」では、2020年までに児童・生徒1人1台の情報端末による教育の本格的展開の検討・推進を行う旨の工程表が掲げられている。

このような教育の情報化をめぐる新たな展開のなかで、学校管理職は、教育の情報化に無関心であってはならない。学校の情報化をマネジメントする責任者として、積極的にこれにかかわる責務がある。

#### 情報教育セミナーのご案内

そこで、「情報教育セミナー2010」の案内をしておきたい。

私が理事長をしている学習ソフトウェア情報研究センターの主催で、「情報教育セミナー2010」を7月30日に東京（アルカディア市ヶ谷）で開催する。セミナーのプログラムを簡単に紹介すると、午前中は、文科省参事官による基調講演「教育の情報化に対する文部科学省の施策」に続いて、富山大学・高橋純准教授による特別講演「わかる・できる授業づくりのためのICT活用」および武蔵大学・中橋雄准教授による特別講演「新学習指導要領とメディア活用」を行い、午後は、放送大学・中川一史教授をコーディネーターとして、分科会方式によるワークショップ（「新聞制作」「CMづくり」「プレゼンテーション」「デジタル教材で授業づくり」）等を行う。学校管理職にも有益なセミナーであるので、ぜひご参加になるようお勧めしたい。

（ひしむら・ゆきひこ＝（財）学習ソフトウェア情報研究センター理事長）

#### 〔情報教育セミナー2010 開催要項〕

《日時》平成22年7月30日（金）9：30～16：30

《会場》アルカディア市ヶ谷（私学会館）

《参加費》2,000円

《申込先》 電話 03（5919）3401

メール gjk@gakujoken.or.jp

★本紙は、<http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp>でも掲載

●6月23日発売！ 改訂の考え方と記入方法をわかりやすく解説！ B5判／190頁／定価2,520円

『小学校・中学校「新指導要録」解説と記入』教育開発研究所〔編〕

■研修誌・図書の小社への直接のお申込みは、無料FAX 0120-462-488をご利用ください（24時間受付・即日発送）